

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	01-01-18	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事					
事務事業名	ニュータウン施策の推進	部課名	総務企画部総務企画課	課長名	小林			
		担当者名	長島、渡邊	内線	2119			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-01-07	ニュータウン施策の推進						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）		<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業					
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		20年度	根拠				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	VII	計画推進のために					
	政策	13	区民の主体的な区政参画と連携強化					
	施策	01	区民参画・協働の推進					
目的	再開発事業で中高層の集合住宅のみに生まれ変わり、人口・世帯数が急増した汐入地区では、区内の他地区とは異なる行政需要が生じることが予測される。そこで、地域コミュニティ活動をサポートするとともに、当該地区の現状や将来にわたって見込まれる地域課題を明らかにするための調査を行う。							
対象者等	区民。特に南千住東部地域（主に南千住4・8丁目）在住の方							
内容	○「汐入かわら版」の発行支援 地域情報の提供によるコミュニティ活動活性化のため、編集委員会方式で発行されている「汐入かわら版」に対して、運営および補助金の支援を行う。 ○「ニュータウン活性化補助金」の運用 南千住東部地域（主に南千住4・8丁目）のコミュニティ活動を活性化させるため、補助金による支援を行う。 ○地域特性と課題の整理 人口動向や世論調査、GAHなど各種データの分析、また各種団体や所管部署へのヒアリング等から、地域の特性と課題を整理する。課題解決のための仮説を設定し、データ検証を行う。							
経過	S44年11月 江東再開発基本構想 S56年6月 白鬚西地区防災再開発協議会発足 H20年4月 ニュータウン担当課長の設置（総務企画課長兼務） H22年2月 集合住宅におけるコミュニティのありかたに関する調査研究 H22年3月 白鬚西地区再開発事業完了 H22年4月 リバーパーク汐入町会ホームページ開設 H24年3月 第1回住民向け講座開催（以降、24年8月、9月、25年3月、8月に開催） H24年5月 「汐入かわら版」第1号発行（以降、年4回ペースで発行。最新号は30年6月（第25号））							
必要性	再開発にともなう汐入地域の特異性としては、中高層の集合住宅のみであること、短期間での特定の人口層が流入したことが挙げられる。今後、区内に集合住宅の増加が想定される中で、先行ケースとして支援することは、他地域への今後の施策展開に資するものである。							
実施方法	（ <input type="radio"/> 直営） （直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input checked="" type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 非常勤のニュータウン事業推進員を配置し、地域特性と課題を整理し、地域コミュニティ活動のサポートを行う。							
指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明	
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)		
	①	地域への愛着（南千住4・8丁目）（%）	19.7	15.7	21.1	23.0	23.0	GAHアンケート調査 荒川区平均22.2%（29年度）
	②	地域の人との交流の充実（南千住4・8丁目）（%）	21.4	18.2	20.2	23.0	23.0	GAHアンケート調査 荒川区平均18.5%（29年度）
③	地域に頼れる人がある実感（南千住4・8丁目）（%）	21.4	20.7	18.3	23.0	23.0	GAHアンケート調査 荒川区平均21.1%（29年度）	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
重点的に推進	重点的に推進	地域の情報を発信する汐入かわら版は、若い世代が地域とつながる機会を創出するなど、一定の成果も出ている。他とは異なる特性を有する地域であることから今後も積極的に推進していく必要がある。						

予算・決算額の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		3,140	3,456	3,812	3,668	3,750	3,630	3,712
決算額(30年度は見込み)		3,171	3,284	3,620	2,478	3,440	3,328	3,712
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	住民向け講座実施回数	3	1					
	汐入かわら版発行回数	4	4	4	4	4	4	4
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報酬	ニュータウン事業推進員報酬	2,511	報酬	ニュータウン事業推進員報酬	2,446	報酬	ニュータウン事業推進員報酬	2,607
共済費	ニュータウン事業推進員健康保険料等	356	共済費	ニュータウン事業推進員健康保険料等	349	共済費	ニュータウン事業推進員健康保険料等	395
負担金補助等	汐入かわら版補助金等	573	報償費	報償費	0	報償費	報償費	52
			旅費	特別旅費	5	旅費	特別旅費	5
			需用費	一般需用費	0	需用費	一般需用費	53
			負担金補助等	汐入かわら版補助金等	528	負担金補助等	汐入かわら版補助金等	600

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
	行政費用	給与関係費	4,304	4,226	▲78		地方税	0	0
	物件費	0	5	5	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	573	528	▲45	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	95	269	174	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲4,972	▲5,028	▲56	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	4,972	5,028	56	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲4,972	▲5,028	▲56	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲4,972	▲5,028	▲56	

備考 行政費用では、「汐入かわら版」発行費用の一部を賄う広告収入が、編集委員の努力により前年度に比べ増加し、それに伴い補助金への戻入額が増加したため、補助費等の費用が減額となった。

問題点・課題
 ・町会やPTAなどコミュニティ活動は活発だが、他地域と同様、町会役員の高齢化が懸念される。そのような中でも、40代を中心に町会活動への参加検討や、PTA活動の活発化を推進する動きが見られる。
 ・中長期的には、住民の高齢化に伴う問題、集合住宅の経年劣化による建て替え問題が発生すると考えられ、現在の人口のボリュームゾーンである35～44歳がシニア層となる2030年以降に、一挙に進むと想定される。
 ・ニュータウン事業で得られた集合住宅コミュニティにおける地域コミュニティづくりのノウハウを、区内全域へフィードバックできるか検討する。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	地域の課題解決へ向けて、地縁型コミュニティのリサーチとサポートを継続し、他地域での先行事例なども含め調査する	他所管で交付している補助金の内容等を調査。そこで得た実情を踏まえながら、汐入地域での成果を区内全域へ波及させる取組みを検討中	地域が抱える課題を整理し、コミュニティの核となっている既存の地域団体との調整を図る
②	汐入かわら版において、新たな層へのアプローチを意識した記事づくりを継続。運営体制について再考する	読者層を広げる仕掛けとして、専用の川柳ポストを、ふれあい館3館に設置。小学生の応募が増え、親世代からも反響があった	かわら版に関わるメンバーが広がるよう協力を呼びかけ、地域住民主体で運営できるよう支援を行う
③	新たな地域活動を発掘・支援するために、汐入かわら版において、ニュータウン活性化補助金の公募を継続する	父親の会・スポクラ合同運動会より応募があり、ニュータウン活性化補助金を助成した	ニュータウン活性化補助金の活用状況等をもとに、引き続き、活性化に向けた支援を行う

他区の実況	(実施 1 区 未実施 21 区 不明 0 区)
	竣工から43年が経過し、高齢化率が40%を超えた高島平団地の問題を抱える板橋区では、平成27年度に高島平地区ランドデザインを策定し、概ね10年間を目安に段階的に施設整備を進めて行く予定。

況議(会質問状) ○平成21年1定：南千住駅東地区のさらなる発展について

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	02-01-01		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事			
事務事業名	区功労者表彰		部課名	区政広報部秘書課	課長名	茶谷	
			担当者名	森	内線	2005	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-05-01	区功労者表彰					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）			<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 35年度		根拠	<input type="radio"/> 法令等 荒川区表彰規則 荒川区表彰要綱			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 年度		法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準			計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画		
行政評価事業体系	分野	VII 計画推進のために					
	政策	13 区民の主体的な区政参画と連携強化					
	施策	01 区民参画・協働の推進					
目的	区の振興・発展に特に功労があった者の実績をたたえることにより、区民の福祉の増進に資することを目的とする。（荒川区表彰規則第1条）						
対象者等	顕著な功績または模範として、推奨するにふさわしい業績もしくは善行のあった者 （平成22年度）141名（平成23年度）133名（平成24年度）139名（平成25年度）93名 （平成26年度）104名（平成27年度）133名（平成28年度）120名（平成29年度）134名						
内容	平成29年度区功労実施内容〔被表彰者数：134名（一般127名、活動3名、特別4名）〕 (1) 日 時 平成29年11月9日 午前11時～（平成28年度は10月27日に実施） (2) 場 所 ホテルラングウッド 2階 ラングウッドルーム 式典・祝宴 (3) 招待者 ①特別来賓者 区議会正副議長・衆議院議員・都議会議員・区内官公署長等 ②一般来賓者 推薦者・区議会議員・行政委員等 (4) 表 彰 表彰状、記念品の授与 記念品：七宝のスプーンセット（一般、活動）、竹細工の花かご（特別功労） ペンケース（受表彰者全員）、徽章						
経過	昭和60年度 表彰規則・要綱の一部改正（被表彰対象者の拡大） 平成 3年度 表彰規則・要綱の一部改正（区議会議員表彰基準の改正により特別功労者表彰の実施） 平成 6年度 表彰規則の一部改正（要綱の廃止、制定 分野別表彰実施） 平成 9年度 会場をサンパール荒川からセレス西日暮里に変更 平成12年度 表彰規則・要綱の一部改正（題名及び組織改正による表彰区分の改正） 平成14年度 表彰規則・要綱の一部改正（特別賞の新設及び組織改正による事務局名の改正） 平成17年度 表彰規則・要綱の一部改正（活動賞の新設及び組織改正による事務局名の改正） 平成18年度 荒川区民交響楽団による弦楽四重奏を実施 会場をセレス西日暮里からホテルラングウッドへ変更（セレス西日暮里がメモリアルホールとなったため）記念品を荒川ブランドの品物に変更 平成20年度 東京藝術大学による弦楽四重奏を実施 平成25年度 神山兄弟による三味線演奏を実施						
必要性	区の振興・発展に特に功労があった者に対して、その功績に報いるために必要である。						
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ） 会場設営、賄い等の提供、進行補助等をホテルラングウッドに委託して実施						
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み	
	① 表彰対象者数（名）	133	120	134	131	120	
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度	31年度						
推進	推進	地域貢献等をなされている方々を表彰することにより、区として感謝と敬意を表するものである。また、区民の方々の自主的な地域活動を進めるきっかけづくりとしても、続けることが必要である。					

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		4,843	4,332	4,026	4,815	4,982	5,022	4,996
決算額(30年度は見込み)		4,716	3,505	3,994	4,512	4,209	4,383	4,996
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
特別	自治 保健 地域	10/9/0/28	5/6/0/31	8/10/0/33	10/8/0/36	5/14/2/33	4/14/0/57	9/11/1/30
学校	商工 社教 街	4/4/16/2	5/2/10/1	1/4/18/0	7/1/7/1	5/3/23/1	7/5/9/0	7/5/9/1
文化	消防 環境 税務	11/6/2/7	13/4/0/3	5/9/0/3	14/10/0/4	6/6/3/1	11/8/0/1	11/8/1/3
善行	社福 無形 活動	1/33/2/4	0/9/1/3	1/8/1/3	1/30/1/3	0/14/1/2	0/14/1/3	1/30/1/3

予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	式典出演料一式	140	報償費	式典出演料等	150	報償費	式典出演料等	180
需用費	記念品、案内状印刷等	2,367	需用費	記念品、案内状印刷等	2,498	需用費	記念品、案内状印刷等	2,967
役務費	表彰状等筆耕	163	役務費	表彰状筆耕	160	役務費	表彰状筆耕	231
委託料	会場設営委託	1,539	委託料	式典運営委託	1,575	委託料	式典運営委託	1,618

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		836	850	14		地方税		0	0	0
物件費		4,069	4,233	164	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		140	150	10	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0		
賞与・退職給与引当金繰入額		371	171	▲ 200	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 5,416	▲ 5,404	12		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		5,416	5,404	▲ 12	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 5,416	▲ 5,404	12		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 5,416	▲ 5,404	12		

備考 行政費用では、給与関係費が少ない一方で、物件費が多くかかっている。物件費の主な内訳は、記念品、案内状印刷等の需用費が2,498千円、式典運営の委託料が1,575千円である。

問題点・課題

問題点・課題の改善策			
	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①			
②			
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
議(要旨)問状	

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	02-01-02	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	新年祝賀会	部課名	区政広報部秘書課	課長名	茶谷		
		担当者名	茂手木	内線	2005		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-06-01	新年祝賀会					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）		<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	不明	年度	根拠			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	VII	計画推進のために				
	政策	13	区民の主体的な区政参画と連携強化				
	施策	01	区民参画・協働の推進				
目的	年頭に当たり、日頃、荒川区の発展に寄与している各界・各層の代表者を招待し、区政への理解・協力を得ることを目的として開催する。						
対象者等	荒川区の発展に寄与している各界の代表者 平成28年度 招待者数 2,017人 来場者数 約1,000人 平成29年度 招待者数 2,021人 来場者数 約1,100人						
内容	(1)日時 1月4日（毎年、仕事始めの日） 11時～ (2)場所 ホテルラングウッド（ラングウッドルーム） (3)招待者 国・都・区議会議員、区内官公署長、行政委員、町会長、民生委員、保護司、その他の公共団体の長、区民栄誉賞受賞者、叙勲受章者、荒川区ゆかりの文化・スポーツ・芸能人等 (4)区制75周年事業 20年新年祝賀会では、荒川区シンボルマークの発表を行った。						
経過	区の発展に寄与していただいている各界の代表者を招待して実施している新年祝賀会への招待者数は、2,000名を超え（出席者は年1,000名～1,100名程度）、新年祝賀会の現状からすると、区内で対応できる会場はホテルラングウッドしかないことから、平成3年度から会場をサンパール荒川からホテルラングウッドに変更し、開催している。 また、平成17年度から東京荒川少年少女合唱隊による合唱および荒川区民交響楽団による弦楽四重奏、平成21年度からは東京荒川少年少女合唱隊による合唱および東京藝術大学による弦楽四重奏を、加えて、平成25年度から26年度は神山兄弟による津軽三味線、平成27年度からは荒川区邦楽連盟による長唄を行い、各界の代表が一堂に会する少ない機会を活かし、区内における文化活動をアピールする場を提供するという、従来の賀詞交換に加えた試みを実施している。						
必要性	年頭にあって、荒川区の発展に寄与している各界・各層の代表者が一堂に会し、区政への理解・協力を得るための重要な機会であることから、今後も継続が必要な事業である。						
実施方法	（ <input type="radio"/> 二部委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） ホテルラングウッドに式典に係る運営を委託						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	① 来場者数（人）	1000	1000	1100	1000	1000	
	② 招待者数（人）	2017	2017	2021	2000		
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度	31年度						
継続	継続	荒川区の発展に寄与していただいている各界・各層の代表者の区政への理解・協力を得るために必要である。					

予算・決算額等の推移	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額	3,306	3,350	3,440	3,432	3,607	3,607	3,607
決算額(30年度は見込み)	3,268	3,330	3,420	3,410	3,595	3,591	3,607
実績の推移							
事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
①来場者数(人)	900	1100	850	1000	1000	1100	1000
②招待者数(人)	1874	1969	2003	2017	2017	2021	2000
③出席率(%) (①÷②×100)	48	56	42	50	50	54	50

予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	祝賀会出演料	217	報償費	祝賀会出演料	217	報償費	祝賀会出演料	217
需用費	案内状印刷	69	需用費	案内状印刷	65	需用費	案内状印刷	81
委託料	会場設営委託	3,309	委託料	祝賀会運営委託	3,309	委託料	祝賀会運営委託	3,309

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	836	850	14	地方税	0	0	0
	物件費	3,378	3,374	▲4	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	217	217	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	371	171	▲200	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲4,802	▲4,612	190
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	4,802	4,612	▲190	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲4,802	▲4,612	190
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲4,802	▲4,612	190	

備考 行政費用では、給与関係費が少ない一方で、物件費が多くかかっている。物件費の主な内訳は、祝賀会運営の委託料が3,309千円である。

問題点・課題

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①			
②			
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
状況(要旨)	会費制実施(新宿区、墨田区、江東区、目黒区、太田区、中野区、豊島区、板橋区、練馬区、足立区)

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		05-01-02		戦略プラン		●協働 ○業務 ○財務 ○人事		
事務事業名		地域活動支援事業		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井	
				担当者名	藤田	内線	2521	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-01-03 地域活動支援事業						
事務事業の種類		○新規事業（○30年度 ○29年度）		○建設事業		●それ以外の継続事業		
開始年度	○昭和 ●平成	19年度		根拠	荒川区地域活動支援事業補助金交付要綱			
終期設定	○有 ●無	年度		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画 ○非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅶ 計画推進のために						
	政策	13 区民の主体的な区政参画と連携強化						
	施策	01 区民参画・協働の推進						
目的	1 豊かで住みよい地域社会を築くため、区民や区民団体等の地域活動を支援し、区政参画の機会を拡大するとともに、区民や区内団体等との協働の促進を図る。 2 職を離れた団塊世代の方々が地域の活動や区政運営に積極的に参画し、地域の人的資源として活躍できるよう支援する。							
対象者等	区民団体、定年退職後の区民、地域活動に関心のある区民等							
内容	1 地域活動サロン「ふらっと.フラット」の運営補助 （運営）荒川区社会福祉協議会（場所）生涯学習センター1階 （開所日）月～金：13:00～19:00（第1・3水金は13:00～21:00 祝祭日を除く） （内容）・地域活動の拠点となるサロンの運営、情報提供、相談、コーディネート 2 コミュニティ活性化推進事業の支援 ・地域のコミュニティ活動が活性化するよう、荒川区内の団体が区民を対象として行う事業に対し支援を行う。							
経過	平成19年度 地域活動サロン「ふらっと.フラット」開設 平成20年度 団塊世代活動支援コーナー開設 南千住図書館における団塊世代の図書特集の開催（1～3月） 関係機関連絡会の開催（2回） 平成21年度 区報「地域活動特集号」の発行 関係機関連絡会の開催 平成22年度 職員向け協働ガイドラインの検討 平成25年度 職員向け協働ガイドラインの策定 平成27年度 事業を文化交流推進課に移管 平成29年度 開設10周年記念事業として、ユニークアイspecial「おとなたちの音楽と紙芝居」を実施、記念誌の作成							
必要性	多様化する区民ニーズに的確に応える区政運営のためには、区民の区政参画の機会拡大はもとより、区民や区内団体等との協働の促進が不可欠である。また、団塊世代を中心とした区民の地域活動の支援は、地域の活性化につながることから、その必要性は高い。							
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ふらっと.フラット：社会福祉協議会に対する運営費補助							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	ふらっと.フラットの利用者数(人)	2820	3973	4421	4500	5000	相談、講座、場所利用、情報収集等
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
推進	継続	関連する施策を一体的・総合的に実施し、より効果的に地域支援等を行い、協働を推進していく。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		7,996	7,246	6,663	6,507	6,422	6,740	6,574
決算額(30年度は見込み)		6,986	6,558	6,428	6,401	6,091	6,495	6,574
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	ふらっと・フラットの事業数(回数)	33	29	31	36	37	38	38
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	地域活動支援事業補助金	6,064	負担金補助等	地域活動支援事業補助金	6,329	報償費	協働研修費	52
償還金利子等	補助金返還額	27	償還金利子等	補助金返還額	166	負担金補助等	地域活動支援事業補助金	6,522

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
	行政費用	給与関係費	450	900	450		地方税	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	3,197	3,261	64	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	6,091	6,495	404	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3,197	3,261	64	
	賞与・退職給与引当金繰入額	26	224	198	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲3,370	▲4,358	▲988	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	6,567	7,619	1,052	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲3,370	▲4,358	▲988	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲3,370	▲4,358	▲988	

備考 行政費用では、補助費等が多くかかっている。内訳は地域活動サロン「ふらっと・フラット」への運営補助である。

問題点・課題
 ・地域力を高め、地域活動の裾野を広げるために、ふらっと・フラットにより芽生えた地域活動の動きをさらに支援し、地域活動の担い手を増やしていく必要がある。
 ・より効果的に地域活動の支援等を行っていくため、他部署と連携し、適切な支援体制について検討する必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	ふらっと・フラットが幅広い層の区民や、団体の地域活動拠点となるように、情報提供を行う。	ふらっと・フラットがより幅広い層の区民や、団体の地域活動拠点となるように、地域活動支援に関する講座等の情報提供を行った。	引き続き、ふらっと・フラットが幅広い層の区民や、団体の地域活動拠点となるように、情報提供を行う。
②	関連部署と連携を図りながら、情報提供を行う。	関連部署と連携を図るため、月1回定例会を実施し、情報交換等を行った。	引き続き、関連部署と連携を図るため、月1回定例会を実施し、情報交換等を行う。
③			

他区の実況	(実施 10 区 未実施 12 区 不明 0 区)
状況	ふらっと・フラットに類似したコミュニティサロンを開設する区の数
議(要)質(問)状	平成20年4定：団塊世代の参画の推進について 平成22年1定：シルバーパワーの活用について 平成22年2定：新しい公共について